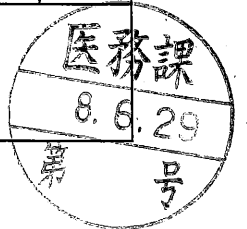


事業報告書			
医療法人整理番号		00623	
報告期間		令和7年4月1日	
自		令和8年3月31日	
至			
1 事業報告書の概要			
(1)	名称	医療法人社団一就会	
	分類①	社団（出資持分あり）	
	分類②	その他	
	分類③	基金制度不採用	
(2)	事務所の所在地	静岡県	
	都道府県	静岡県	
	市区町村	伊豆の国市	
	町名・番地	長岡 9 4 6	
	建物名		
(3)	設立認可年月日	平成7年3月8日	
(4)	設立登記年月日	平成7年3月20日	
(5)	理事長の氏名	松崎	
	姓	松崎	
	名	研一郎	
	役員及び評議員の人数	8	
	役員及び評議員	記載はこちら	
2 事業の概要			
(1-1)	本来業務（病院、診療所）	記載はこちら	
(1-2)	本来業務（介護老人保健施設、介護医療院）	記載はこちら	
(2)	附帯業務	記載はこちら	
(3)	収益業務	記載はこちら	
(4)	当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項	記載はこちら	
(5)	当該会計年度内に発行した医療機関債	記載はこちら	
(6)	当該会計年度内に購入した医療機関債	記載はこちら	
(7)	当該会計年度内に開設（許可を含む）した主要な施設	記載はこちら	
(8)	当該会計年度内に他の法律、通知等において指定された内容	記載はこちら	
(9)	その他	記載はこちら	



様式 1 : 1-(2)

事業報告書			
1-(2) 従たる事務所の所在地			
都道府県	市区町村	町名・番地	建物名
静岡県	伊豆の国市	長岡946	

事業報告書			
1-(5) 役員及び評議員			
役職	姓	名	備考
理事	横山	和正	
理事	須田	寸実人	
理事	土居	一丞	
理事	土居	一哉	
理事	松崎	千恵美	
理事	土居	雄斉	
監事	鈴木	亮士	

注) 1. 「社会医療法人、特定医療法人及び医療法第 4 2 条の 3 第 1 項の認定を受けた医療法人」以外の

医療法人は、記載しなくても差し支えないこと。

2. 理事の備考欄に、当該医療法人の開設する病院、診療所、介護老人保健施設又は介護医療院（医療法第 4 2 条の指定管理者として管理する病院等を含む。）の管理者であることを記載すること。（医療法第 4 6 条の 5 第 6 項参照）

3. 評議員の備考欄に、評議員の選任理由を記載すること。（医療法第 4 6 条の 4 第 1 項参照）

事業報告書											
2-(1) 本来業務 (開設する病院、診療所（医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。）の業務)											
種類	施設の名称	指定管理	施設の医療機関コード	開設場所	許可病床数						
病院	長岡リハビリテーション病院		2210310393	伊豆の国市	一般病床	療養病床	医療保険	介護保険	精神病床	感染症病床	結核病床
診療所	東静岡神経センター		2212110270	富士宮市	0	0	0	0	0	0	0

注) 1. 地方自治法第244条の2第3項に規定する指定管理者として管理する施設については、指定管理の欄に記載すること。
2. 療養病床に介護保険適用病床がある場合は、医療保険適用病床と介護保険適用病床のそれぞれについて内訳を記載すること。
3. 介護老人保健施設又は介護医療院の許可病床数の欄は、入所定員及び通所定員を記載すること。

事業報告書					
2-(1) 本来業務 (介護老人保健施設又は介護医療院 (医療法第 4 2 条の指定管理者として管理する病院等を含む。) の業務)					
種類	施設の名称	指定管理	施設の介護事業所番号	開設場所	入所定員 通所定員
注) 1. 地方自治法第 2 4 4 条の 2 第 3 項に規定する指定管理者として管理する施設については、指定管理の欄に記載すること。 2. 療養病床に介護保険適用病床がある場合は、医療保険適用病床と介護保険適用病床のそれぞれについて内訳を記載すること。 3. 介護老人保健施設又は介護医療院の許可病床数の欄は、入所定員及び通所定員を記載すること。					

事業報告書

2-(2) 附帯業務 (医療法人が行う医療法第42条各号に掲げる業務)				
種類又は事業名	委託管理	実施場所	備考	
東静岡訪問看護ステーション		静岡県富士宮市		
長岡リハビリテーション病院居宅介護支援事業所		静岡県伊豆の国市		
東静岡居宅介護支援事業所		静岡県富士宮市		
グループホーム湯と里		静岡県伊豆の国市		
小規模多機能ホーム湯と里		静岡県伊豆の国市		

注) 地方公共団体から委託を受けて管理する施設については、その旨を委託管理の欄に記載すること。

事業報告書		
2-(3) 収益業務 (社会医療法人又は医療法第42条の3第1項の認定を受けた医療法人が行うことができる業務)		
種類	実施場所	備考

事業報告書	
2-(4) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項	
日付	議決又は同意した事項
注) 2-(5)、2-(6)については、医療機関費を発行又は購入する医療法人が記載し、(7)以下については、病院、介護老人保健施設又は介護医療院を開設する医療法人が記載し、診療所のみを開設する医療法人は記載しなくても差し支えないと。	

2-(6) 当該会計年度内に購入した医療機関債

医療機関債の発行により資産の取得が行われる医療機関と同一の二次医療圏内に自らの医療機関を有しており、これらの医療機関が地域における医療機能の分化・連携に資する医療連携を行っており、かつ、当該医療連携を継続することが自らの医療機関の機能を維持・向上するために必要である理由

医療機関債名	発行元医療法人名	購入総額	償還期間（開始日～終了日）	

注)

1. 医療機関債を購入する医療法人は、医療機関債の発行により資産の取得が行われる医療機関と同一の二次医療圏内に自らの医療機関を有しており、これらの医療機関が地域における医療機能の分化・連携に資する医療連携を行っており、かつ、当該医療連携を継続することが自らの医療機関の機能を維持・向上するために必要である理由を記載すること。

2. 購入した医療機関債名、発行元医療法人名、購入総額及び償還期間を記載すること。なお、契約書又は償還証書の写しの添付に代えても差し支えない。

2-(7) 当該会計年度内に開設（許可を含む）した主要な施設
開設（許可を含む）した主要な施設

日付

2-(8) 当該会計年度内に他の法律、通知等において指定された内容	
日付	他の法律、通知等において指定された内容
注) 全ての指定内容について記載しても差し支えない。	

2-(9) その他	
日付	記載事項
(注) 当該会計年度内に行われた工事、医療機器の購入又はリース契約、診療料の新設又は廃止等を記載する。(任意)	

法人名 医療法人社団一就会
所在地 静岡県伊豆の国市長岡946

※医療法人整理番号 00623

貸借対照表
令和8年3月31日 現在

(単位:千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
I 流動資産	211,999	I 流動負債	120,220
現金及び預金	56,079	支払手形	0
事業未収金	148,602	買掛金	5,008
たな卸資産	4,407	短期借入金	38,850
前渡金	353	未払金	0
前払費用	3,231	未払費用	39,843
貸倒引当金	-800	未払法人税等	332
その他の流動資産	127	未払消費税等	1,066
		前受金	75
		預り金	29,812
		前受収益	
		その他引当金	
		その他の流動負債	5,234
II 固定資産	831,452	II 固定負債	739,483
1 有形固定資産	803,413	医療機関債	0
建物	168,941	長期借入金	739,483
構築物	5,513	繰延税金負債	0
医療用器械備品	2,379	その他引当金	0
その他の器械備品	1,166	その他の固定負債	0
車両及び船舶	0		
土地	624,492		
その他の有形固定資産	922		
その他の有形固定資産			
		負債合計	859,703
2 無形固定資産	1,611	純資産の部	
借地権	0	科目	金額
ソフトウェア	462	I 出資金	70,000
その他の無形固定資産	1,149	II 積立金	113,748
		繰越利益積立金	113,748
3 その他の資産	26,428	繰越利益積立金	
有価証券	0	その他積立金	
長期貸付金	0		
保有医療機関債	0		
その他長期貸付金	0		
役員等長期貸付金	0		
長期前払費用	0	III 評価・換算差額等	
繰延税金資産	0	その他有価証券評価差額金	
その他の固定資産	26,428	繰延ヘッジ損益	
資産合計	1,043,451	純資産合計	183,748
		負債・純資産合計	1,043,451

(注) 1. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。また、別に表示することが適当であると認められるものについては、当該資産、負債及び純資産を示す名称を付した科目をもって、別に掲記することを妨げないこと。
2. 社会医療法人及び特定医療法人については、純資産の部の基金の科目を削除すること。

法人名 医療法人社団一就会
所在地 静岡県伊豆の国市長岡946

医療法人整理番号 00623

損 益 計 算 書

自 令和7年4月1日

至 令和8年3月31日

(単位:千円)

科目		金 額	
I 事業損益			
A 本来業務事業損益			
1 事業収益			862,759
2 事業費用			
(1) 事業費	898,511		
(2) 本部費	0		898,511
本来業務事業損失			35,752
B 附帯業務事業損益			
1 事業収益			177,055
2 事業費用			149,352
附帯業務事業利益			27,703
C 収益業務事業損益			
1 事業収益			0
2 事業費用			0
収益業務事業利益			0
事業損失			8,049
II 事業外収益			
受取利息	90		
その他の事業外収益	28,702		28,792
III 事業外費用			
支払利息	10,693		
その他の事業外費用	0		10,693
経常利益			10,050
IV 特別利益			
固定資産売却益	0		
その他の特別利益	0		0
V 特別損失			
固定資産売却損	0		
その他の特別損失	0		0
税引前当期純利益			10,050
法人税・住民税及び事業税	332		
法人税等調整額	0		332
当期純利益			9,718

(注) 1. 利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること。

2. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。また、別に表示することが適当であると認められるものについては、当該事業損益、事業外収益、事業外費用、特別利益及び特別損失を示す名称を付した科目をもって、別に掲記することを妨げないこと。

様式 2

法人名 医療法人社団一就会

※医療法人整理番号

所在地 静岡県伊豆の国市長岡946番地

財 産 目 録

(令和 8年 3月 31日現在)

1. 資 産 額	1,043,451 千円
2. 負 債 額	859,703 千円
3. 純 資 産 額	183,748 千円

(内 訳)

(単位：千円)

区 分	金 額
A 流 動 資 産	211,999
B 固 定 資 産	830,866
B' 繰 延 資 産	586
C 資 産 合 計 (A+B)	1,043,451
D 負 債 合 計	859,703
E 純 資 産 (C-D)	183,748 ✓

(注) 財産目録の価額は、貸借対照表の価額と一致すること。

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。

土 地 (■ 法人所有 □ 賃借 □ 部分的に法人所有(部分的に賃借))
建 物 (■ 法人所有 □ 賃借 □ 部分的に法人所有(部分的に賃借))

様式5

医療法人管理番号									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

法人名 医療法人社団一誠会
所在地 静岡県静岡の国市長岡945番地

関係事業者との取引の状況に関する報告書

(1) 法人である関係事業者

種類	名称	所在地	総資産額 (千円)	事業の内容	関係事業者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
該当なし									

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

(2) 個人である関係事業者

種類	氏名	職業	関係事業者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
該当なし							

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

様式6

監 事 監 査 報 告 書

医療法人社団一就会

理事長 松崎 研一郎 殿

私は、医療法人社団一就会の令和7会計年度（令和7年4月1日から令和8年3月31日まで）の業務及び財産の状況等について監査を行いました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

監査の方法の概要

私は、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、本部及び主要な施設において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表及び損益計算書（注2）の監査を実施しました。

記

監査結果

- (1) 事業報告書は、法令及び定款（寄附行為）に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 計算書類は、法令及び定款（寄附行為）に従い、損益及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款（寄附行為）に違反する重大な事実はありません。

令和8年5月28日

医療法人社団一就会

監事 鈴木 亮士

（注1）監査人が複数の場合には、「私たち」とする。

（注2）関係事業者との取引がある医療法人については、「財産目録、貸借対照表、損益計算書及び関係事業者との取引の状況に関する報告書」とし、社会医療法人債を発行する医療法人については、「財産目録、貸借対照表、損益計算書、純資産変動計算書、キャッシュ・フロー計算書及び附属明細表」とする。